

松城中学校学校評価推進について

1 学校評価の目的

こどもがより良い教育活動を享受できるように

(1) 学校運営の改善を図る

《学校運営について目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成にむけた取組の適切さ等を評価し、学校として組織的、継続的な改善を図る》

(2) 信頼される開かれた学校づくりをおこなう

《自己評価及び関係者評価を公表、説明することで家庭、地域から理解と参画を得て、学校、家庭、地域が連携した学校づくりを進める》

(3) 学校・地域が一体となった学校づくりを図る

《学校、生徒の現状と課題を理解し、共に協力して生徒の育成と学校づくりをすすめる》

2 学校評価に関する規定

学校教育法第42条

学校教育法施行規則第66条67条68条

文部科学省「学校評価ガイドライン」平成20年1月31日改訂

3 本校における学校評価の流れ

平成21年度学校経営周知資料《リーフレット》を全保護者へ配布 (5月)

自己評価(教職員評価、生徒、保護者アンケート)の評価項目・指標設定(6月)

関係者評価委員会(5名)発足 (6月)

関係者評価委員と平成21年度前期学校経営について意見交換を実施 (9月)

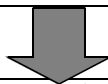
自己評価(教職員評価、生徒、保護者アンケート)実施 (10月~11月)
生徒344名(全生徒の96%)保護者271名(全保護者の91%)教職員25名(100%)

自己評価結果の分析、改善方策のとりまとめ (11月)

関係者評価(自己評価の結果と改善方策について)実施 (1月)

自己評価結果分析・改善方策及び関係者評価結果を保護者・地域へ公表 (2月)

自己評価結果分析・改善方策及び関係者評価結果を設置者(那覇市教育委員会)へ報告 (2月)



平成22年度学校経営に係る目標設定や具体的取組に反映 (2月~3月)

平成22年度学校経営周知資料《リーフレット》を全保護者へ配布
(平成22年5月予定)

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

評価項目	H20 4+3		4+3		2+1	
	1年	2年	1年	2年	1年	2年
1 学校の教育活動は、それぞれに目的と生徒をより良く育てるために行われている。	87%	87%	92%	92%	8%	8%
2 先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれる。	80%	80%	87%	86%	13%	14%
3 先生は、安全や健康に充分気をつけてくれる。	84%	84%	95%	90%	5%	10%
4 先生は、勉強、スポーツ及びその他の活動でがんばったときほめてくれる。	79%	79%	92%	87%	8%	13%
5 先生は、やってよいことと悪いことをきちんと指導してくれる。	87%	87%	97%	92%	3%	8%
6 学校は、きれいで、気持ちのよい環境である。	76%	76%	81%	79%	19%	21%
7 わたしは、学校へ行くのが楽しい。	82%	82%	75%	83%	25%	18%
8 わたしは、元気な声で心からあいさつをしている。	74%	74%	84%	81%	16%	19%
9 わたしは、学校生活のきまりを守って生活している。	86%	86%	90%	88%	10%	12%
# わたしは、授業中しっかり話を聞いている。	81%	81%	78%	83%	22%	17%
# わたしは、家庭学習(課題、宿題)を、きちんとしている。	66%	66%	62%	71%	38%	29%
# わたしは、授業中、わからないところは質問したりするなどして、最後まで考えて学習している。	65%	65%	70%	69%	30%	31%
# わたしは、「今の教科の学習がこれからの生活に役立つ」と考えている。	69%	69%	81%	75%	19%	25%
# わたしは、清掃や係活動がんばっている。	89%	89%	93%	92%	7%	8%
# わたしは、親や保護者と学校生活のことをよく話す。	68%	68%	71%	71%	29%	29%
# わたしは、親や保護者と自分の将来の夢や希望について、一緒に話し合っている。	65%	65%	68%	67%	32%	33%
# わたしは、基本的な生活習慣(ことばづかい、マナー、学習時間、TVの視聴時間等)が身についている。	72%	72%	68%	73%	32%	27%
# わたしは、自分の住んでいる地域が好きである。	79%	79%	82%	84%	18%	16%
# わたしは、地域行事によく参加している。	56%	56%	70%	72%	30%	28%
# わたしには、悩みの相談のってくれる大人(保護者、教師、その他)がいる。	65%	65%	68%	71%	32%	29%

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

	評 価 項 目	4+3	2+1
1	学校の教育活動は、それぞれに目的と生徒をより良く育てるために行われている。	92%	8%
5	先生は、やってよいことと悪いことをきちんと指導してくれる。	92%	8%
#	わたしは、清掃や係活動ががんばっている。	92%	8%
3	先生は、安全や健康に充分気をつけてくれる。	90%	10%
9	わたしは、学校生活のきまりを守って生活している。	88%	12%
4	先生は、勉強、スポーツ及びその他の活動でがんばったときほめてくれる。	87%	13%
2	先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれる。	86%	14%
#	わたしは、自分の住んでいる地域が好きである。	84%	16%
#	わたしは、授業中しっかり話を聞いている。	83%	17%
7	わたしは、学校へ行くのが楽しい。	83%	18%
8	わたしは、元気な声で心からあいさつをしている。	81%	19%
6	学校は、きれいで、気持ちのよい環境である。	79%	21%
#	わたしは、「今の教科の学習がこれからの生活に役立つ」と考えている。	75%	25%
#	わたしは、基本的な生活習慣(ことばづかい、マナー、学習時間、TVの視聴時間等)が身についている。	73%	27%
#	わたしは、地域行事によく参加している。	72%	28%
#	わたしは、親や保護者と学校生活のことをよく話す。	71%	29%
#	わたしには、悩みの相談のってくれる大人(保護者、教師、その他)がいる。	71%	29%
#	わたしは、家庭学習(課題、宿題)を、きちんとしている。	71%	29%
#	わたしは、授業中、わからないところは質問したりするなどして、最後まで考えて学習している。	69%	31%
#	わたしは、親や保護者と自分の将来の夢や希望について、一緒に話し合っている。	67%	33%

生徒アンケート結果の概要

1 集計結果一覧 (4 あてはまる 3 どちらかといえばあてはまる 2 どちらかといえばあてはまらない 1 あてはまらない)

肯定評価(評価4+3の合計)の割合と視点	項目数(全20項目)	
肯定評価90%以上(ほぼ満足)	H20年	該当項目なし
	H21年	4項目
肯定評価70~89%(今後も努力を続ける)	H20年	13項目(80%台8項目 70%台5項目)
	H21年	14項目(80%台7項目 70%台7項目)
肯定評価69%以下(要努力・要改善)	H20年	7項目(60%台6項目 50%台1項目)
	H21年	2項目(60%台2項目)

2 成果

- (1)全項目で肯定評価が昨年度より上回っている。総じて学校の教育活動のありかたに満足しているといえる。
- (2)「学校へ行くのが楽しい」という生徒が昨年に続き80%を超えており良好である。
- (3)教師の支援に係る4項目(No.1~5)について、肯定評価が89%に達している。このことから教師の指導のありかたについて満足しているといえる。
- (4)「清掃や係活動を頑張っている」が全項目で1番高い92%を示しており、生徒が諸活動を頑張っている様子が伺える。
- (5)地域と関わる項目については、昨年度より肯定評価のポイントが上昇している。今年度から総合的な学習の時間の学習課題を全学年とも「地域との関わり」に設定し、その活動について生徒が「肯定的に良いと捉えた結果」と考える。平成24年度まで継続していく。

3 課題

- (1)「家庭学習をきちんとしている」は、71%(H20年66%)で家庭学習の定着が昨年と同様に課題である。
- (2)こどもが家庭で保護者と話す機会が少ない。(肯定評価 71% H20年68%)
- (3)各学年69%以下の項目の改善

対応策

- (1)本校オリジナル家庭学習帳「山城ノート」の実施調査から定着状況を把握し個別に指導していく。
(年度内着手) 学級活動で「効果的な家庭学習」について考える機会をもつ)
 全校集会で山城ノート突破冊数ベスト10の表彰を行い、全校生徒の士気を高め、個別指導をとおして今年度目標の1人3冊突破を達成する。
- (2)保護者と連携を強化し、学校側から家庭への情報発信を増やす
(年度内着手) 学年通信を学校HPで公開する)
(平成22年度着手) 学校HPに家庭・地域のページをつくる)
- (3)各学年で落ち込みの項目の分析し、対応していく。
(年度内着手) 各学年69%以下の項目について特に指導・支援を強化し、年度末にその項目に係るアンケートを再度実施し、こどもの変容を分析する。1,2年は、結果について次年度に引き継ぐ。平成22年度学年経営の生徒理解基礎資料として活用する

平成21年度

学校評価（保護者用集計結果）

那覇市立松城中学校

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

	評価項目	H20 4 + 3	4+3	2+1
学校運営	1 学校は、教育活動をわかりやすく伝えている。	90%	94%	6%
	2 学校は、授業を工夫するなどして、こどもの学力を高める取り組みをしている。	81%	91%	9%
	3 学校は、こどもの安全や健康に充分配慮した教育をおこなっている。	92%	92%	8%
	4 学校は、体験活動、学校行事を工夫しながら豊かな心を持ち、たくましく生きるこどもの育成に努めている。	90%	93%	7%
	5 学校の生徒指導の方針に納得している。	85%	86%	14%
	6 学校は、校舎内外をきれいに清掃し、気持ちのよい環境を整えている。	89%	90%	10%
こども	7 こどもは、学校が楽しいといっている。（充実した学校生活をおくっている）	86%	91%	9%
	8 こどもは、あいさつが上手である。	75%	76%	24%
	9 こどもは、基本的な生活リズムがととのっている。	74%	77%	23%
	10 こどもは、学習のルールをきちんと身につけ、落ちついて授業に取り組んでいる。	78%	88%	12%
保護者・地域連携	11 学校からでる文書や連絡事項などはわかりやすく時期も適切である。	85%	87%	13%
	12 学校は、家庭や地域へ情報提供を積極的におこなっている。	86%	86%	14%
	13 学校は、保護者や地域の方を迎え入れる雰囲気が整っている。	88%	90%	10%
	14 学校は、こどもの様子についてよく伝えてくれたり、適切に相談に応じてくれる。	80%	84%	16%
保護者自身に関する事	15 こどもと学校生活のことをよく話す。	80%	68%	32%
	16 こどもと将来の夢や希望について、一緒に話し合っている。	79%	88%	12%
	17 こどもに基本的な生活習慣（あいさつ、早寝早起き、ことばづかい、マナー、学習時間、TVの視聴時間等）が身につくよう指導している。	82%	89%	11%
	18 授業参観や保護者会には可能な限り参加している。	60%	60%	40%
	19 P T A 活動や地域行事にはよく参加している。	55%	52%	48%
	20 こどもの様子に変化があれば、すぐに関係教職員に連絡するなどしている。	70%	64%	36%

保護者記述評価に係る学校への意見に対する回答

意見及び質問事項 / 学校側の回答

- 1 学力教育だけではなく、子どもに心のゆとりや子供らしさ、一人一人の個性を伸ばすようにして欲しいです。勉強だけが全てではないと思います。人を思いやる気持ちがとても大切だと思います。
- 2 学力を高める取り組みは素晴らしいと思いますが、美術や技術などの取り組み方ももう少し力を入れて欲しいです。
- 3 学校は学ぶところであり、心身ともに成長するように指導してもらいたいと願っています。

【回答】1~3については、平成21年12月実施の職員会「学校評価分析の結果と改善」で取り上げ、全職員で「こどもに生きる力を身につけさせる教育の実践」を再確認しております。今後も全教師で力をあわせて、こどもが心豊かでたくましくより良く、健やかに成長できるよう指導、支援して参ります。

- 4 勉強道具のみ学校へ持参を！！徹底させて下さい。

【回答】「学校は学習する場」であることを生徒に周知徹底し、今後も粘り強く指導してまいります。

- 5 宿題が少なすぎると思います。授業の内容、テストの内容も基本にとどまっており学力の向上をもっと進めて欲しいです。

【回答】「各教科の宿題、課題の与え方について」実態を把握し、こどもの学力向上へ繋がる宿題の提示について再検討します。また、テストの内容については、基礎・基本事項のみならず、全国学力調査問題や県到達度テストに準じて活用（基礎・基本事項の応用）問題も出題しています。定期テストは、今後も「こどもに身に付いた力」が明確であり、さらに信頼性と妥当性のある問題を作成して参ります

- 6 11月のプールの授業はどういうことですか。タイミングでかかもしれませんが、新型インフルエンザが発生しました。

【回答】今年度は、運動会実施年の関係で、「体育科年間指導計画」では、10月3週目まで水泳の授業の計画でしたが、学級による進度の差で、11月1週目に授業が伸びてしまいました。大変申し訳なくお詫び申し上げます。次年度については、実施時期を検討（7月終了）し、計画を立てます。さらに、こどもの体調チェックをしっかりと確認し、水泳の授業を行います。

- 7 小学校で行っていた授業参観が中学校はすごく少なく、かえって行きづらいです。子供の様子が知りたいので、行きやすい父母の参加の呼びかけをお願いしたいです。

【回答】平成22年度は、毎月第2木曜日の午前中を授業公開日として設定します。さらに5月下旬と2月中旬に日曜授業参観日を設定します。案内については、文書及び学校ホームページにてお知らせいたします。どうぞお気軽に学校へお来ください。

- 8 中学生になると教科ごとに先生が変わるので、質問や相談事があってもチャイムが鳴ると、先生がすぐに教室を出て行き、なかなか相談できず子供が困っています。（他学年の階や教室には行ってはいけないきまりがあるので）生徒がいつでも相談できやすい様に、相談室等を作って欲しいと思います。時々アンケートがあるようですが、それだけでは足りないと思います。

【回答】本校では、生徒相談室として、保健室横に生徒相談室1カ所、職員玄関口に2カ所の相談室を設定しております。学級担任や教育相談担当教諭、スクールカウンセラー（毎週木曜日来校）に気軽にご相談下さい。

- 9 子ども達のあいさつは上手であるが、はずかしそうだったり声が小さかったりする。もう少し元気よくあいさつできればなお良いと思います。

【回答】今年度の学力向上対策事業の一環で一事徹底事項として「元気な声で心からあいさつを」を掲げて実践しております。学校評価生徒自己評価では、平成20年度より本件について肯定的に評価している生徒が増加しています。今後も粘り強く指導して参ります。

- 10 学校からの手紙を持ってこないことが多い。

【回答】担任より公文配布時に確実に保護者に届ける旨の声かけを行います。また、学校ホームページに学校からの文書や各学年便りを掲載しております。ご活用下さい。

- 11 担任が途中で変更したにもかかわらず、担任からの何のあいさつも文書での報告も受けていません。子供から変わったと聞いただけなので、せめて電話での報告でもいいので、家庭へ担任から連絡をすべきではな

いでしょうか。どんな担任かも分からず子供を預けないといけないので不安があります。

【回答】大変申し訳なくお詫び申し上げます。ご指摘された件については、今後改善してまいります。

12 坂の上から繁多川公園に向けて、裏門から正門までの間の清掃を、ちゃんとした方がいいと思います。繁多川自治会で毎月第二日曜日に「清掃活動」をしていますが、地域の方々だけでなく、学校側でも参加してはいかがでしょうか。(スクールゾーンの対処は学校ですべきです)

【回答】繁多川自治会の皆様には感謝申し上げます。ご指摘の件について、PTA環境整備部等と検討して参ります。

13 月に1回部活動休みの日があったと思います。徹底できるといいです。

【回答】毎月第3日曜日は「家庭の日」として、部活動休止としております。しかし、大会直前で活動を行った部もありました。その場合は振り替えをとるよう指導しております。今後も部顧問会で共通理解を図り徹底して参ります。

14 帰宅が22時を過ぎる塾に通うことは絶対に禁止と伝えたことがあるが、そこまでして通わせる親がいたことに驚いた。親は日曜日は休みと決めている先生がいるようだが、残念ながら日祭日なく働く親がいることも考えて欲しい。特に沖縄は観光産業が主という当たり前なことを忘れてはいないか。なかなか協力ができない事が多い事も理解してくれ。

【回答】貴重なご意見をありがとうございます。各種PTA行事及び学級行事の開催については、学校側と保護者で、日程や時間を調整しながら設定してまいります。

15 可能な限り協力はしたいと思っています。先生方のご指導に感謝しております。ありがとうございます。

16 生徒の少ない分、先生方が生徒をよく見ていると思います。

17 先生方ととても話しやすいので良いと思います。

【回答】教師の指導のあり方について、肯定的に評価していただいたことをうれしく思います。今後も、保護者や地域に皆様から「信頼される教職員」をめざし、研鑽と修養に努めて参ります。皆様のご理解とご協力を得ながら教育活動を推進して参ります。

保護者アンケート結果の概要

1 集計結果一覧 (4 あてはまる 3 どちらかといえばあてはまる 2 どちらかといえばあてはまらない 1 あてはまらない)

肯定評価(評価4+3の合計)の割合と視点	項目数(全20項目)	
肯定評価90%以上(ほぼ満足)	H20年	3項目
	H21年	7項目
肯定評価70~89%(今後も努力を続ける)	H20年	15項目(80%台10項目 70%台5項目)
	H21年	9項目(80%台7項目 70%台2項目)
肯定評価69%以下(要努力・要改善)	H20年	2項目(60%台1項目 50%台1項目)
	H21年	4項目(60%台3項目 50%台1項目)

2 成果

- (1) 一般的に肯定的な評価をしている。昨年度より16項目について肯定評価のポイントが上昇している。
- (2) 学校運営に関する6項目の肯定評価の平均が90%を超えており、学校教育活動に満足していることがわかる。
- (3) 学校の情報提供及び保護者や地域をうけいれる雰囲気(No.11,12,13,14の設問)で高い数値を示しているのは、本校教職員への信頼が高まっていること(適切な情報提供をおこなっている)を表していると思われる。

3 課題

- (1) 「あいさつ」を中核とした基本的生活習慣の指導の継続。
- (2) 「授業参観」「保護者会」「PTA活動」「地域行事」への参加が不十分(思わしくない)。
- (3) 記述評価における保護者の意見。(教師の指導のありかたの指摘、こどもとの対応面の指摘、要望)

対 応 策

- (1) **(年度内着手)**
生徒会生活員会による「あいさつ運動啓蒙ポスター作成」や「あいさつ運動」を継続実践していく。
- (2) **(平成22年度着手)**
休日に授業参観日を設定し、保護者が参加しやすいようにする。さらに学年行事等に多くの保護者が参加できるよう学年PTAと連携して、期日設定をしていく。
PTA役員や地域自治会と連携を図りながら、人材バンクの登録人数を増やしていくことで学校への来校回数を増やしていく。
- (3) **(年度内着手)**
平成22年2月の関係者評価終了後、全ての意見に対し回答を紙文書やHPで、誠意をもって対応する。

平成21年度学校評価(教職員集計結果)

4 : 達成できた 3 : ほぼ達成できた 2 : あまり達成できなかった 1 : 達成できなかった

教育課程・学習指導

課題を記入した場合、必ず対応策を記入すること

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
1	教育課程の編成が適切に行われ、授業時数の確保がなされている。	92%	12	7	2	0	90%	10%	(1)道徳・学活が年計通り進んでいる。 (2)補欠がある時は可能な限り授業交代をしている。 (3)道徳・学活を年計通りに進めることで関連をもって授業を進めることができた。 (4)道徳に関しては、教育課程に沿って行うことができています。 (年計通りに心がけるが、実際の学級の様子によって変えてしまう。年計通りに進めるように、生徒のサポートを細かめにする。) (国語に関しては、書道を行うことができない。書き初めに向けて、しっかりと確保する。)
2	日頃の授業で本時のねらいを明確に示し、まとめの段階でそれが確認できるような授業実践を行っている	79%	4	17	0	0	100%	0%	(1)毎回ねらいを明確にし、確認している。今後、更なる生徒の理解を得たい。 (2)本時の目標を確実に板書している。 (3)ねらいを示すことで生徒がスムーズに授業を進めていっている。 (4)ほとんどの授業において、ねらいを立て、振り返りを行うことができています。 (5)わかる授業づくりについて全職員で共通実践されていてよい。 (発問に関しては、精選して行っていないので、生徒の思考を止めてしまう場合がある。発問の精選を行う。)
3	個別指導、グループ指導別指導、習熟度別学習、課題学習、発展的な学習等、個に応じた指導の工夫・改善に努めている。	83%	3	14	3	1	81%	19%	(1)能力別指導を行うことで、水泳において25M泳げる生徒が増えた。 (生徒同士の活動は入れるよう心がけているが、グループ活動を取り組んだことがまだない。今後、グループ活動を取り入れる。) (補足的な個別指導に課題がある。机間指導の更なる充実。) (授業のパリエーションが不足している。内容によって授業のパリエーションをつける工夫をしたい。) (教科の指導法の工夫・改善を図りたい。教科毎の指導法の見直しをする。) (一斉授業で個に応じた指導ができていない。グループ編成をしっかりと行い、改善していく。)
4	達成度テスト、諸学力検査及び各教科のテスト結果を分析、検討し、指導計画に生かしている。	71%	5	14	1	1	90%	10%	(1)Can-do-Listを行う事により、自分の活動目標が明確になった。 (2)全員がCan-do-Listを作成し授業分析を行った。 (3)テスト結果を分析することで、生徒たちの実態がわかり今後の授業に生かすことができる。 (4)Can-do-Listの利用で各学年の課題が把握できた。 (5)Can-do-Listの自己評価によって理解度が明確にわかったため、改善策を立てやすくなった。 (6)テスト結果を踏まえて、復習や、次の単元の指導方法へ生かす。 (7)国語科・数学科はよく頑張っている。 (まだ活用しきれっていない。今後、活用する。)
5	体験的な学習や問題解決的な学習、生徒の興味・関心を生かした学習等、授業の工夫改善を行っている。	75%	2	14	4	1	76%	24%	(1)発表、全体活動は行った。今後はペア、グループでの活動も入れていく。 (2)身近な例を出して話し合いなどを行っている。 (体験活動が不足している。応急処置や心肺蘇生などの体験活動をいれるなどしていきたい。)

6	コンピュータや教育機器などの教材・教具が整備され、教育活動で効果的に活用されている。	64%	2	12	4	2	70%	30%	(職員用のコンピュータが少ない。個人に配布の予定がある。 (教科においてのカリキュラムにPC使用を盛り込んでいない。今後、盛り込んでいく。) (教材研究が必要。校内研で取り上げて頂きたい。) (活用できていない。ビデオなどを利用し自分の動きを振りかえらせて技能の向上を図る。)
7	指導と評価の一体化が図られ、客観的で信頼性のある評価や評定が行われている。	100%	7	12	2	0	90%	10%	(1)観点別評定の数値や、判断基準資料を作り説明をもった。 (2)評価に対しての質問がないのでおおむね達成していると考え。 (評価説明を個人個人には実施していない。今後、検討する。)
8	体力テスト・泳力調査・生活実態調査等に基づき、一人ひとりの生徒の課題を明確にし、自ら進んで体力の向上を図る指導が行われている。	70%	6	12	2	0	90%	10%	(1)リズムシート等を通して日頃の生活リズムについて子ども達と話をしている。 (2)生活実態調査の分析をしっかりと行っている。 (3)泳力は途中経過だが昨年より向上している。
9	道徳の授業時数を確保し、年間指導計画に沿って実践し、道徳的实践力を高めている。	78%	8	10	3	0	86%	14%	(1)心のノートの活用、道徳のプリントの点検は行っている。 (2)年計に沿って確実に実施されている。 (年計通りに進められていない。今後は年計にそうように努力する。)
10	学級活動・生徒会活動を通して生徒の自主・自治の力を育成し、望ましい人間関係づくりができるような指導に努めている。	88%	5	13	3	0	86%	14%	(1)年計に沿って確実に実施されている。 (2)各行事等でのねらい、活動後のふりかえる時間の設定がされたのでよかった。 (3)とても充実した生徒会活動ができていると思います。 (与えられた仕事はこなしているが、まだ生徒同士での活動には発展していないように思う。今後のサポートの仕方考える必要がある。)
11	「総合的な学習の時間」は、年間指導計画に基づき、身に付けるべき力を意識した指導になっている。	84%	16	3	1	0	95%	5%	(1)3年の卒業論文が楽しみである。 (2)主任を中心に充実した内容になっている。 (3)全体共通実践の元ポートフォリオ、まとめポートフォリオファイルの活用がよかった。 (4)地域の人材の活用等がはかられるようになってきた。
12	毎月1回の「人権の日」を活用して、人権教育の充実に努めている。	83%	8	12	1	0	95%	5%	(活動を掲示する場がない。担当者は人権目標や作文など掲示する場を設定すべき。) (作文の発表の場があると良い。発表の場を設ける。)
13	朝の読書、図書委員会の活動等、図書館の計画的利用が行われ読書の活性化が図られている。	96%	5	14	2	0	90%	10%	(1)朝の読書活動が定着している。 (2)図書館掲示がしっかりとされておりとても良かった。 (図書館の利用が不十分。図書館利用の声かけをする。) (読書冊数の減少。各学級へのよびかけ・点検を継続する。) (図書館の本をかりていない人が数名いる。週に1回か2週に1回、学級でチェックする。)
14	体力・技術の向上、生徒の健全育成等のねらいを踏まえ、全職員の共通理解の下、部活動が行われている。	70%	6	13	2	0	90%	10%	(1)合同トレーニングDayの効果ができつつある。 (部顧問の共通理解がされていない。部顧問会を定期的に開く。) (部顧問会が開けずに統率した指導ができていない。定期的に部顧問会を開く。) (下校指導が徹底していない。各部が持ちまわりで下校指導をする。)

進路指導

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
15	生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路選択ができるように、ガイダンス機能を生かした進路指導に努めている。	86%	2	16	2	1	86%	14%	(1)教育指導を通して進路指導に当たっている。 (2)進路だよりを使った指導をしている。今後は個人の指導を目指す。 (進路室の活用・資料の充実ができると良い。今後、資料などを揃えていく。) (進路室が活用が不十分。高校や関係資料が自由に閲覧できる方法をとるとよ
16	職場見学及び体験学習、進学先の体験入学等の充実に努めている。	88%	13	7	0	0	100%	0%	

17	進路指導資料、効果的な資料等の作成・活用・提供を通して保護者との連携を密にした指導の充実に努めている。	70%	4	15	2	0	90%	10%	(1)進路便りの時宜を適切に行うとよい。 (2)進路便りを使った指導をしている。今後は個人の指導を目指す。
----	---	-----	---	----	---	---	-----	-----	--

生徒指導

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
18	学級担任を中核においた生徒指導体制を確立し、生徒指導の充実に努めている。	78%	9	12	1	0	95%	5%	(1)学級担任がよく生徒と関わり、状況を把握できていると思う。 (2)生徒に関する情報が共通理解できている。 (3)学校全体で見ると非常に落ち着いてい
19	生徒の生活面に関する内容、いじめに関する調査等を実施し、その結果を踏まえ、生徒指導の充実・改善に努めている。	91%	8	14	1	0	96%	4%	(1)アンケートの実施を行っている。 (生活面に関する指導がうまく生徒に伝わっていない。生徒には理解できる説明が必要である。) (アンケートの結果を伝えてもらいたい。アンケート結果の共通理解。) (生徒指導係と担任との連携が不十分。生徒指導係と担任との更なる連携を図る必要あり。)
20	不登校や問題傾向の生徒を把握し、家庭・スクールカウンセラー・生徒カウンセラー・関係機関と連携し、指導の充実に努めている。	80%	10	13	0	0	100%	0%	(1)組織としてうまく機能している。 (2)サポート会議・学習支援員などサポート体制が充実している。 (3)教育相談担当のきめこまやかな実践がすばらしい。 (4)サポート会議が定期的に行われている。 (5)電話連絡を細かめにするようにしている。 (6)登校を始めた生徒へのサポートは充実している。 (SCの活用に課題がある。SCの活用を保護者へ進めたい。) (生徒への学習支援に課題。更なる充実が必要。)
21	カウンセリング・マインドを生かし、担任・養護教諭・スクールカウンセラー等との連携の下、教育相談の充実に努めている。	75%	9	14	0	0	100%	0%	
22	問題行動の指導に当たっては、実態を的確に把握し、迅速かつ適切に対応するとともに、関係機関との連携の下、未然防止に努めている。	88%	8	15	0	0	100%	0%	(1)生徒指導主事作成の資料がよい。 (2)生徒指導主事の先生をはじめ、生徒たちを温かいサポート体制で支援できている。 (3)課題が多い中協力しながら対応できている。 (学年の生徒への対応は適切に行われているが、他学年への関わりが難しい。全体での、問題行動の生徒の実態を確認する

保健管理

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
23	健康診断及び諸検査を通して生徒の健康管理に努め、疾病予防、自己健康管理能力の育成に努めている。	92%	17	6	0	0	100%	0%	(1)保健便りもわかりやすく、できている。 (2)インフルエンザの対応ははやくて良かった。 (家族への連絡はできるが育て管理能力
24	学校保健活動を推進するに当たって、学校保健計画の作成・実施が円滑に行われている。	90%	14	8	0	0	100%	0%	
25	養護教諭の行う健康相談活用及び「性及びエイズ教育」薬物乱用防止教室の充実に努めている。	92%	15	8	1	0	96%	4%	(1)時期・時間共に適当だと思う。 (2)養護教諭を中心にエイズ教育ができていいる。 (3)健康観察簿の提出が良い。

安全管理

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
26	危機管理マニュアルを作成し、全職員の共通理解の下、緊急事態時の対応策が講じられている。	84%	12	10	1	0	96%	4%	(外階段カギの管理などが不十分。学年室への保管場所の徹底周知が必要。)
27	毎月1回の安全点検を実施し校内外の安全確保に努めている。	84%	6	13	3	1	83%	17%	(点検後の営繕が不十分な所がある。担当と確認して修繕する。) (安全点検が不十分。安全点検を毎月確実に行う。) (毎月提出できていない。努めて提出するようにする。) (安全点検の周知が不十分。2ヶ月に一度でもいいので、安全主任は校内の状況について周知してほしい。)

28	学校防災計画を作成し、避難訓練を実施する等、職員・生徒の安全に関する意識の高揚に努めている。	88%	10	12	1	0	96%	4%	(1)生徒の集散離合については去年よりも充実している。 (2)計画もともしっかりした訓練ができています。
----	--	-----	----	----	---	---	------------	----	---

特別支援教育

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
29	特別支援教育推進にあたって障害種別と指導上の基本的な留意事項を理解している。	91%	10	11	1	0	95%	5%	
30	校内支援委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターによる連絡・調整が図られている。	92%	13	9	0	0	100%	0%	(1)校内支援委員会が定期的に行われている。 (2)定期的に委員会があり支援の確認がしやすい。
31	学年を中心として個別の教育支援計画による具体的支援が行われている。	92%	9	10	2	0	90%	10%	(個別の支援「計画」については話された事が記憶になく、何の計画なのか分からない。周知の徹底してほしい。) (学校での支援状況がみえてこない。状況報告の場があったほうがいい。)

組織運営

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
32	校務分掌は学校の運営組織に適したものとされており、能率的で機能しやすい。	78%	6	15	2	0	91%	9%	(1)少ない人数の中で職員は大変頑張っていると思う。 (職員が少ないので負担が大きい。分掌の精選。)
33	各種主任等の「リーダーシップ」の下、校内体制が確立され、組織・運営がスムーズに行われている。	88%	13	9	0	0	100%	0%	(1)少ない人数の中で職員は大変頑張っていると思う。 (2)校長先生、教頭先生の指導のもと組織づくりができています。 (3)主任を中心に学年経営もできています。 (4)各主任の積極的な運営に感謝している。
34	勤務状況、諸届出、職専免等職員の勤務状況は良好である。	88%	11	10	3	0	88%	13%	(週案の提出が滞っている。気を付ける。) (個人的に週案の提出が適切にできていない。改善する。)
35	学校教育目標を踏まえた学年・学級経営が行われている。	96%	8	14	0	0	100%	0%	(1)学年主任作成の資料がすばらしい。
36	公文処理、予算執行等、諸事務処理は全職員の共通理解を得て、適切に行われている。	92%	15	7	0	0	100%	0%	(1)管理職、事務、担当者との連携がスムーズである。

研修

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
37	校内研修の組織体制が確立され、全職員による共通理解・共通実践が行われている。	100%	19	3	0	0	100%	0%	(1)校内研担当者はよくがんばっています。 (2)校内研主任の頑張りがすばらしい。 (3)内容が充実していて日々の実践に生かされている。
38	本校の課題に対応した研究テーマが設定され、生徒の学習指導、学校生活に生かされている。	100%	14	8	0	0	100%	0%	(1)教員の学びの時間が確保され、かつ生かされている。 (2)担当者のおかげで充実した研修内容になっている。
39	校内外の研修に積極的に参加し、各教職員が研鑽に努めている。	100%	17	5	1	0	96%	4%	(1)研究・研修会で得た知識を2学期にいかすことができる。 (2)夏期休業中の研修に参加していきたい。

自己評価

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
40	教育目標及び学校の状況を踏まえた自己評価の評価項目を設定している。	100%	11	12	0	0	100%	0%	
41	自己評価について年1回以上管理職による面談が定期的に行われ、適切な指導助言のもと改善を行っている。	100%	18	5	0	0	100%	0%	(1)毎回適切なアドバイスを頂き感謝している。

保護者・地域住民等との対応

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
42	学校評議員・PTA・地域団体との連携を密にし、情報交換に努めている。	91%	10	13	0	0	100%	0%	(1)去年より今年は地域と連携できている。 (2)校長先生と教頭先生を中心に学校と地域の連携ができています。
43	運動場・体育館等の学校施設を開放し、地域に開かれた学校づくりに努めている。	100%	15	7	0	0	100%	0%	(1)教頭先生を中心に充実した体制ができています。
44	学校からの情報提供を通して保護者・地域住民が学校運営に参画できるように努めている。	95%	7	14	2	0	91%	9%	(1)よく頑張っており、HPも充実しキレイにまとまっている。 (2)すばらしい内容のホームページですなどと、保護者から耳にする。 (3)ホームページは充実している。 (4)生徒・保護者・地域から好評である。 (5)ホームページがすばらしい。 (学級だよりがない。定期的に学級便りを作成する。)
45	保護者・地域住民から寄せられた意見や要望に対しては誠意を持って対応している。	100%	12	11	0	0	100%	0%	(1)誠意をもって対応している。 (2)校長先生・教頭先生、主任のもと適切な対応がされている。
46	授業や教材の開発に地域の人材など外部人材及び地域の教育資源を活用している。	55%	7	12	4	0	83%	17%	(1)特に3学年への自治会長の協力と講話は素晴らしい。 (2)前年より改善されているが、もっと人数が増えよう。 (3)学校行事において、地域の方々に協力いただいている。 (4)読み聞かせ、一人一協力運動に協力する保護者が増えてきている。 (教科での地域の活用が不十分。今後は教科でも地域に発信していきたい。)

11 教育環境整備

	評価項目	H20 4+3	4	3	2	1	4+3%	2+1%	成果(良かった点)・及び課題と対応策
47	余裕教室の有効活用を含め、施設・設備が学校教育に有効活用されている。	87%	5	16	1	0	95%	5%	(1)掲示資料が充実している。 (少人数教室等の清掃が行き届いていない。整理整頓を徹底する。)
48	学校安全・維持管理のための点検が実施され、施設・設備面の修繕が適切に行われている。	74%	4	17	2	0	91%	9%	(ライトのスイッチ類など、充実しているとは思えない。点検し、修繕が必要。)
49	環境整備、植栽培を計画的に取り組み「緑と花いっぱいの学校環境づくり」に取り組んでいる。	79%	5	12	6	0	74%	26%	(去年と比べてキレイではあるが、あまり充実しているとは思えない。花を増やすなどの整備をする。)
50	各教室、トイレをはじめ各施設の清掃がよくなされ、保清に努めている。	61%	3	16	4	0	83%	17%	(1)トイレ清掃が上手になっている。 (トイレの使用マナーが良くない。清掃時も職員が目が行き届かない。マナー向上と清掃指導が必要。) (時間いっぱい活動をしていない生徒が多い。点検表を活用し継続して指導を行う。) (落書きを目にする。落書きをさせない指導をする。) (細かくは清掃されていない。清掃指導の徹底が必要。)

教職員アンケート結果の概要

1 集計結果一覧(4 達成できた 3 ほぼ達成できた 2 あまり達成できてない 1 達成できなかった)

肯定評価(評価4+3の合計)の割合と視点	項目数(全50項目)	
肯定評価90%以上(ほぼ満足)	H20年	21項目(100% 8項目 90%台13項目)
	H21年	39項目(100% 18項目 90%台21項目)
肯定評価70~89%(今後も努力を続ける)	H20年	26項目(80%台14項目70%台12項目)
	H21年	11項目(80%台8項目70%台3項目)
肯定評価69%以下(要努力・要改善)	H20年	3項目(60%台2項目50%台1項目)
	H21年	該当項目なし

2 成果

- (1)全50項目中39項目(約8割の項目)が、ほぼ満足の評価である。平成20年度と比較しても著しく各項目のポイントが上昇している。特に、「わかる授業づくりの実践」「校内研修」「自己評価による自身の改善」「開かれた学校づくり」で100%達成している。さらに、「生徒指導」「保健管理」「組織運営」の領域については、肯定評価100%達成の項目が増えている。
- (2)学校情報の発信・受信についての評価は、生徒や保護者も高い評価をしている。今後も継続していく。
- (3)「生徒指導」「保健管理」「安全管理」「組織運営」の領域については、肯定評価がすべての項目で平成20年度を上回り、良い状況にある。今後も共通実践していく。

3 課題

- (1)コンピュータや視聴覚機器等の整備や効果的な活用が70%と低い。(全項目中最下位)
- (2)各施設の清掃・保清がまだ十分ではない。(H20年肯定評価61% H21年肯定評価83%)
- (3)体験的な学習や問題解決学習を取り入れた授業づくりが定着していない。
(H20年肯定評価75% H21年肯定評価76%)

対応策

- (1) **(年度内着手)**
担当者は、今年度で整備をしっかりと行い、整備状況を常時掲示する。(備品修繕費の効果的活用)
(H22年度着手)
H22年度教育備品予算よりコンピュータ、視聴覚機器等を計画的に購入し充実を図る。
- (2) **(年度内着手)** 大清掃Dayを今年度中に実施する
- (3) **(年度内着手)**
各教科で指導形態について今一度見直し、ペア学習、グループ学習を取り入れ、こどもの自尊感情が高まるわかる授業づくりを実践していく。
Matsushiro Can-do-List(学習活動自己評価シート)の結果分析から授業改善していく。

全 体 考 察

1 領域別総括評価による分析

領域	肯定評価（評価4 + 3の合計）平均% （ ）は平成20年度結果		
	生徒	保護者	教職員
学校	87.6 (82.6)	89.3 (84.5)	93.0 (89.5)
学習指導	76.8 (72.2)	90.7 (82.3)	86.4 (83.3)
家庭・地域	73.0 (67.0)	70.2 (71.0)	94.8 (88.2)

- (1) これまでの結果から平成21年度学校評価の自己評価では、概ね肯定的な評価が多かった。生徒、教職員の全領域で平成20年度と比較して肯定評価のポイントが上昇している。
- (2) 三者の評価を比較すると、全般的に生徒・保護者の評価より教職員の評価が高い傾向にある。これは、それだけ努力しているという教職員の意識の表れと考えられるが、生徒、保護者の評価を真摯に受け入れる必要がある。
- (3) 特に領域「家庭地域」に関することについては、これまで以上に実態把握に努め、より良き改善策を講じていく。

2 今後の方針

(1) 学校評価結果をうけて

学校関係者評価の結果・考察や学校評議委員の助言を平成21年度の学校経営へ生かしていく。

生徒がわかる授業、参加する授業づくりにつとめる。基礎・基本の定着を確実にいき、生徒が学ぶ実感がわくような授業づくりにつとめる。

これまでと同様、生徒の夢や希望を育むために教育相談や出番づくりの充実につとめる。

積極的、定期的に学校情報を公開する。

(2) 平成22年度の学校評価について

平成22年度は、学校評価を前・後期でそれぞれ行き、課題については即改善していくようにする。

平成22年度は、より細かい分析・検証を行うべく、生徒、保護者、教職員で共通アンケート(20項目)を実施する。

関係者評価委員(4名)による評価・助言

1 評価結果及び考察

評価規準 4・よくあてはまる(とてもそう思う) 3・ややあてはまる(そう思う)
2・あまりあてはまらない(そう思わない) 1・あてはまらない(全く思わない)

領域	評価項目	評価結果				自己評価に対する意見
		4	3	2	1	
学校教育活動	学校教育目標が達成されている	3名	1名			<p>生徒、保護者、教師アンケートを多く集めて、その結果を集計し、きちんと考察されていて大変良い。</p> <p>生徒アンケート項目「学校へ行くのが楽しい」という質問に否定的な回答をしている生徒への手だてを講じてほしい。</p> <p>P(計画)D(実践)S(評価)がきちんとできていることがとても立派である。</p> <p>校門に入ると同時に花いっぱい学習環境がつけられている。</p>
	学校はこどもの安全及び健康管理に努めている	4				
	学校は教育環境整備の充実に努めている	4				
	学校はこどもの夢や希望を育む活動を推進している	4				
	学校は基本的な生活習慣の確立に努めている	3	1			
学習指導	授業の工夫をおこない、学力向上を図る取り組みがされている	4				<p>授業のねらいを全教師に徹底させていることはとても良いことだと思う。</p> <p>学力向上対策のあり方がわかりやすい。次年度も引きつづきおねがいたい。</p> <p>生徒の「わかりにくい教科がある」という意見に対しての手だてを講じる必要がある。</p>
	こどもに目的意識を明確にし、学ぶ意欲を育てている	2	2			
家庭・地域連携	諸活動を保護者や地域に公開している	3	1			<p>読み聞かせボランティアの活動はとても良い。</p> <p>諸行事の広報をとおして、一人でも多くの保護者及び地域の方が学校に足を運べるようにしてください。</p> <p>保護者が学校へ行くきっかけをもっとつけてほしい。</p> <p>一人一協力運動はとてもよい取り組みなので今後も推進してほしい。</p> <p>PTAは、お互いで声をかけ合いながら学校に積極的に協力していくことが大切である。</p>
	学校情報は随時適切に提供している	3	1			
	PTA及び地域と連携した活動が行われている	2	2			

提言

個に応じた指導について教師一人一人のさらなる実践研究がのぞまれる。
生徒全員が「学校へ行くのが楽しい」という学校になってほしい。
学校全体の雰囲気が高まる掲示教育の充実が望まれる。
不登校生徒の保護者の支援をできないものか。